4 隣接する学校種の免許状を取得する方法

(1) 幼稚園教諭等の経験年数を利用し、2種免許状を取得する場合

所	要資	格						小 別表 8 - 1
	ようとする免許状	小学校	教諭:	2種兒	許状	注1 最低修得単位数は、幼稚園教諭普通免許り 取得後に修得した単位とする。 小学校教諭免許状の認定課程のある大学等		
	が必要な免許状	幼稚園	教諭	手通免	許状	で修得すること。		
		験年数 注2	3	年	以	Ŀ	- 注2 経験年数は、幼稚園教諭普通免許状取得後○ 幼稚園又は特別支援学校の幼稚部○ 幼保連携型認定こども園○ 小学校、義務教育学校の前期課程又は特別	
						位	数	
最低	各教科0		1 ()		講師又は保育教諭としての経験年数3年を要する(助教諭、助保育教諭としての経験は含めない。)。		
修 得	道徳の留等法徒教等ののかは 一番 (本本の) では (大学) できる (大学	道	徳の理論及び指導法		1			※なおこれらの職には、外国の教育施設又はこれに
単 位		事 -	生徒指導の理論及び方法					準ずるもの(独立行政法人国際協力機構法に基づき派遣された場合に限る。)において、教育に従事した職も含まれる。
数 注 1			教育相談(カウンセリング に関する基礎的な知識を含 む。)の理論及び方法	全て(2	か 事 [』] 単		含 み 位	注3 「各教科の指導法」は、生活を除く、国語 (書写を含む)、社会、算数、理科、音楽、 図画工作、家庭、体育及び外国語のうち5以 上の教科の指導法について、それぞれ2単位
			進路指導及びキャリア教育 の理論及び方法					以上修得する。 (生活以外の9教科のうちから自由に選択できる。)
		13						

(2) 中学校教諭又は小学校の専科教員等の経験年数を利用し、2種免許状を取得する場合

	1 7 000	(HI33) (10. 4]			<i>>,</i> ,,	47 14 -	` -	
	所要:	資格							小 別表8-2
	授与を	とする免許状	小	学校	教諭2	種免討	許状	注1 最低修得単位数は、中学校教諭普通免許状 取得後に修得した単位とする。 小学校教諭免許状の認定課程のある大学	
有することが必要な免許状						教諭普	通免	許状	等で修得すること。 注2 中学校教諭普通免許状取得後に 〇中学校、義務教育学校の後期課程、中等教
経験年数 注2						年 .	以上	:	○ 中子校、表務教育子校の複類課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部○ 小学校、義務教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部
				必	要	単	位	数	のいずれかで、主幹教諭、指導教諭、教諭、 講師又は免許法第16条の5に規定する小学校
最低修	各教科(の指導法に (5巻			1 ()		専科教員としての経験年数3年を要する(助教諭としての経験は含めない。)。 ※なおこれらの職には、少年院、認定在外教育施設及び外国の教育施設又はこれに準ずるもの(独立行政法人国際協力機構法に基づき派遣さ	
得単	道合習等法徒教等る徳ののの及指育に科総学間導生、談す		導の理論及び方法						れた場合に限る。)において、教育に従事した職も含
単位数注		に関っ	目談(カウンセリング する基礎的な知識を含 の理論及び方法		全ての事項を 2 単	頁を含	を含み 位	まれる。 注3 「各教科の指導法」は、所有している中学 校免許状の教科に相当する教科を除き、国語 (書写を含む。)、社会、算数、理科、生 活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語	
1		Ш —	指導及びキャリア教育 論及び方法						のうち5以上の教科の指導法について、それ ぞれ2単位以上修得する。
				1 2	2		※(修得例)中学校2種免許状(美術)を所有している場合→各教科の指導法は「図画工作」以外の9教科のうちから自由に選択可能。		

(3) 幼稚園教諭等の経験年数(3年以上)に加えて、小学校の助教諭等の経験年数を利用して、2種免許状を取得する場合

戸	斤要資	格						小	施行規則第18条の2			
	授与を	受けよ	うとする免許状	小学校	教諭2種	免許状		修得単位数は、幼稚園教諭普 状取得後に修得した単位とす				
	有する	ことが	必要な免許状	幼稚園	教諭普通	免許状	る。小学校教諭免許状の認定課程のある大学等で修得すること。					
			年数 <u>注2</u> 日以降のものに限る)	0年	1年	2年		○ 分 幼 保	園教論普通免許状取得後に、 ・園又は特別支援学校の幼稚部 ・連携型認定こども園 校、義務教育学校の前期課程			
最低					7	5	Σ σ.	ては特	別支援学校の小学部 れかにおける主幹教諭、指導 教諭、講師又は保育教諭とし			
修	道徳の留等法様教等ののの場合では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	道徳	の理論及び指導法	1	1	1	7	の経	験年数3年(助教諭、助保育			
得単位数 注1		事 教 に む 進	徒指導の理論及び方法 育相談(カウンセリング 関する基礎的な知識を含)の理論及び方法 路指導及びキャリア教育 理論及び方法	2	2	1	, 学の応含※ 杉外	小学の応さな が検験 が検験 でないない が国の	経験は含めない。)に加え、 交、義務教育学校又は特別支援 小学部の助教諭又は講師の職 がある場合、その経験年数に 、1年につき3単位ずつ軽減 いく(最大6単位分軽減)。 これらの職には、少年院(小学 認定在外教育施設(小学校)及び 対情設又はこれに準ずるもの(独 法人国際協力機構法に基づき派			
			計	13	10	7	造事 注 3 < 数 d 学 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	さし 「、、育校の12得なた職 各国理及等年年年すお	場合に限る。)において、教育に従 場合に限る。)において、教育に従 地含まれる。 教科の指導法」は、生活を除 語(書写を含む)、社会、算 科、音楽、図画工作、家庭、 が外国語の 9 教科のうち、小 での在職には 5 教科以上、 の場合には 4 教科以上、 の場合には 3 教科以上、 の場合には 3 教科以上、 の場合には 3 教科以上、 の場合には 5 表 の場合になる。 、履修方法については、下表 ルケースを参照のこと。			

・小学校教諭2種免許状を取得する際の「各教科の指導法」履修方法モデルケース

		を等の右 O 単位値					交等の7 単位値				小学校等の在職年数2年以上 5単位修得するケース				
	教 科 A	教 科 B	教 科 C	教 科 D	教 科 E	教 科 A	教 科 B	教 科 C	教 科 D	教 科 E	教 科 A	教 科 B	教 科 C	教 科 D	教 科 E
パターン① 5 科目履修 (最も望ましい)						2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
パターン② (パターン ①と③の間)								0			2	1	1	1	_
パターン③ 少ない科目を履修 (ここまでは許容)	2	2	2	2	2	2	2	2	1		2	2	1	_	_
認められないパターン (3単位の科目が生じる)						3	$\sqrt{2}$	<u></u>			3	2			